

富津市障害者総合支援協議会

《 令和元年度 各部会の活動報告 》

《 令和2年度 各部会の運営方針 》

《 目 次 》

- I. 就労支援部会 P 1 ~ 2
- II. 地域生活支援部会 P 3 ~ 4
- III. 子ども部会 P 4 ~ 6
- IV. 権利擁護部会 P 7 ~ 1 0
- V. 障がい者差別解消会議 P 1 1
- VI. 広報会議 P 1 2 ~ 1 3
- VII. 一部事務局委託 P 1 4
- VIII. 令和元年度予算執行見込 P 1 5
- IX. 令和2年度予算(案) P 1 5

I. 就労支援部会

1. 令和元年度 部会全体の活動報告

就労支援部会では、富津市内に居住する障がいのある方の就職や実習などがスムーズにできるよう、その基盤整備をしていくことが役割と考え、障がいのある方と企業がそれぞれのニーズや課題解消に繋がる活動を行った。

活動日時	場 所	内 容
5月9日	富津市役所 502 会議室	第1回就労支援部会（部会全体会）
12月17日	富津市役所 404 会議室	第2回就労支援部会
1月28日	富津市役所 大会議室	第3回就労支援部会
1月28日	富津市役所 大会議室	権利擁護部会勉強会に当部会として参加
3月26日	富津市役所 大会議室	講師を招き、障害年金制度説明会を開催（予定）

① 官公需パンフレット「富津市福祉にたのめーる」の内容更新

概 要：現行の「富津市福祉にたのめーる」は平成25年度以降更新されていなかったため最新情報に更新し、周知等に活用ができるようにした。

運営方針：市内各事業所の販売促進、障がいについての理解を深める。

評 価：市内就労支援事業所に対し、原稿作成依頼をし、内容を更新した。
うち2事業所（ワークハウス憩いの里、AlonAlon オーキッドガーデン）については、今回の更新で新たに掲載されることとなった。
次年度の活動では、周知方法について検討を進める予定。

② 障害者優先調達推進法 定期販売会

概 要：障害者優先調達推進法により市内各事業所の生産物を定期的に販売する機会を設けることで、販売促進と優先調達推進法の周知を図る。

運営方針：毎月第2・4木曜日に実施。

評 価：今年度は市内5事業所が参加。認知度も上がってきており、来場者も増えている一方で、消費税増税に伴う「販売価格の改定」について各事業所は判断に苦慮されている様子が伺えた。
現状では、定期販売会から官公需パンフレットの活用へつながっていない状況であるため、次年度以降の活動で「富津市福祉にたのめーる」をイベント会場等にて配布できるようにするなど

、官公需パンフレットの周知方法について検討していく。

③ 外部講師による「障害年金制度説明会」の開催

概要：社会保険労務士：嶋津氏を講師に招き、企業の人事担当者を主な対象にした「障害年金制度説明会」を開催する。

運営方針：令和2年3月26日（木）に開催予定。

評価：開催にあたり、「富津市商工会」「木更津法人会」「新富工場協議会」をはじめ、「福祉事業所」等にも周知を行い、参加を募る。

「障害年金制度への理解を通じて、“障がいのある方の雇用を検討する上での一助”として活用して欲しい」ことを主に、社会保障制度の周知を兼ねて行う予定。

2. 令和2年度の活動方針

障害者優先調達推進法に基づく定期販売会については、月2回（第2・4木曜日）の開催を継続。また、優先調達法の周知については、官公需パンフレット（富津市福祉にたのめーる）を軸に、部会の中で検討していきたい。

障がい者をはじめ、企業や福祉関係者を含めた“就労支援の橋渡し”となる活動は継続する方針とし、「障害年金制度説明会」の反響に応じて今後の活動を検討していく。

Ⅱ. 地域生活支援部会

1. 令和元年度 部会全体の活動報告

地域生活支援部会は、障がいのある方、地域の方、福祉事業所の方、行政の方などいろいろな方が参加して構成されており、この部会構成を活かして各方面と連携していく。今年度は新たに、防災についての取り組みを主として活動を行った。

活動日時	場所	内容
5月8日(水)	富津市役所 203 会議室	前年度の活動の振り返り 令和元年度活動について
7月19日(金)	富津市役所 503 会議室	富津市防災課による出前講座受講
9月5日(水)	富津市役所 203 会議室	出前講座振り返り 今後の活動計画の協議
10月21日(月)	富津市役所 103 会議室	イオンモールにて、防災関係の周知活動としての出展について協議
1月17日(金)	富津市役所 103 会議室	イオンで行う防災ブース出展に係る調整 次年度以降の活動について協議
2月15日(土) 16日(日)	イオンモール 富津	イオンでの防災ブース出店及びアンケート調査

概要：防災・減災についての勉強会や研修会を開催し、地域の状況やニーズの情報収集に努める。

運営方針：市の備えとして、どのような防災設備があるのか、部会員と情報共有の為に勉強会を行う。その中で、障がいのある方及びご家族等が、地域生活を送る上でのサポートに繋がるような取り組みを、模索しながら対応していく。

評価：防災についての知識を深めるための取り組みとして、市の出前講座を受講した。実際に災害が発生した場面では、障がいの有無に関わらず自助も重要であることを認識することができた。今年度は、公助・共助への取り組みを検討しながら、個人の防災に対する意識を高める為の活動を行った。

2. 令和2年度の活動方針

<地域防災の体制づくりについて>

障がいのある方及びご家族等が、不便なく暮らせる地域を作るため、関係機関とのネットワーク構築や、地域生活を送る上でのサポートに繋がるような事項を模索していく。その活動の中で、地域生活支援拠点における地域の体制づくりの一端を担っていければと考えている。

Ⅲ. 子ども部会

1. 令和元年度 部会全体の活動報告

子ども部会は、保護者、当事者団体、保育所（園）、幼稚園、教育機関など多様な機関で構成され、障がいのある子どもの支援に関する事項の調査に係る事務を所掌しており、併せて保護者や支援者支援のための活動を行った。

○全体会議

活動日時	場所	部会活動内容
5月14日（火）	富津市役所 401 会議室	今年度活動計画
7月9日（火）	富津市役所 401 会議室	スキルアップ講座準備
11月22日（金）	富津市役所 401 会議室	スキルアップ講座の講評 次年度活動計画検討
1月14日（火）	富津市役所 401 会議室	年間活動報告、次年度活動計画

① スキルアップ講座

概要：障がいのある子どもに関わる支援者の支援を目的に活動を行う。

運営方針：乳幼児・学童期・児童施設など、子どもに関わる専門職員のスキルアップ講座を企画。

8月24日の講演テーマは「すぐに実践できる日常・非日常での支援方法」。参加者は「保育関係者を中心に支援者のみ」、講師は「千葉県発達障害者支援センター（CAS）：田熊立氏」により開催した。

評価：保育関係者を中心に62名の参加があり、支援者向けの具体的な支援についての知識の共有を図ることができた。

② 子育て交流会

概 要：障がいのある子どもの保護者やその家族を支援することを目的に活動する。

運営方針：障がいのある子どもの保護者やその家族の日頃の悩み（支援方法なども含む）について、療育アドバイザーや支援者、先輩保護者たちと一緒に、解決方法の糸口を見つけることを目的に、定期的（毎月第2火曜日の10時～12時）に富津市役所内会議室で交流会を実施。また、保護者等が支援情報を得るため、行政サービスや事業所等の紹介を実施。

活動日時	場所	内容	参加者数
4月9日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	19人
5月14日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会 ＜望みの門ピターパンの家：子育て相談支援員参加＞ ～児童家庭支援センターの事業説明～	17人
6月11日（火）	富津市役所 401会議室	講演 「お父さんにできること？」 講師 石畑政克さん	20人
7月9日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	14人
8月13日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会 ＜富津市教育部学校教育課：就学担当職員参加＞ ～就学にあたっての支援の流れ～	9人
9月10日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	5人
10月8日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	15人
11月7日（木）	富津市役所 401会議室	子育て交流会 ＜千葉県社会福祉事業団児童サービスセンター：臨床心理士、言語聴覚士参加＞ ～療育支援事業の内容と利用の流れ～	15人
12月10日（火）	富津市役所 大会議室	音楽交流会	13人 見学19人
1月14日（火）	富津市役所 401会議室	子育て交流会	14人
2月18日（火） （開催予定）	富津市役所 401会議室	子育て交流会 ＜訪問看護ステーションわくわく：作業療法士＞	
3月10日（火） （開催予定）	富津市役所 401会議室	子育て交流会 ＜相談支援センター天羽：療育アドバイザー＞	

評 価：対象のお子さんが幼児から学童期、成長期の保護者が参加者し、延べ160人（R1.1月末現在）が参加された。

参加者は、行政や事業所が行政サービスや事業内容等を説明することで、福祉サービス等の情報を知ることができ、子育てについても助言を得るこ

とが出来ている。

また、同じ悩みを持った保護者同士として、心が安らぎ新たな力を得る時間を確保することが出来ている。

子育て交流会への参加を促すことによりまだ相談につながっていないケースへの貢献ができたと考える。

市民への周知については継続した課題であり、チラシ・安全安心メール・マチイロ等を活用していく。

③ 障がいのある子どもの支援に関する調査及び協議事項について

概 要：障がいのある子どもの支援を実施していく上での課題や問題点について調査及び、協議を行う。

運営方針：H24. 4からライフサポートファイル「すこやか」を作成・配布（現在名は『子育てノート』）。過去に活用状況調査を行い富津市役所内の関係課間で協議を実施していくこととなっていることから、協議結果に応じて子ども部会でも検討を行う。

評 価：予算不足により今年度は配布出来ていないが、ホームページ等によりダウンロードが出来るようにしており、窓口等において希望があった場合には配布を実施。

2. 令和2年度の活動方針

- ① 令和2年8月頃にスキルアップ講座を開催
- ② 子育て交流会を毎月第2火曜日の10時～12時に継続して開催
- ③ 『子育てノート』の予算が確保できた場合に内容や配布方法について検討

IV. 権利擁護部会

1. 令和元年度 部会全体の活動報告

権利擁護部会では、「障がいがあってもなくても暮らしやすいまちづくり」を目標に、部会員を「研修班」と「調査研究班」という2つのワーキンググループに分けて活動を行った。(権利擁護部会会議については、下記のとおり開催)

活動日時	場 所	内 容
5月30日(木)	富津市役所 大会議室	平成30年度活動報告及び令和元年度活動方針について
10月24日(木)	富津市役所 503会議室	令和2年度部会員について 令和2年度活動計画及び予算編成について
1月28日(火)	富津市役所 大会議室	令和元年度活動報告について 令和2年度活動計画について

2. 令和元年度 各ワーキンググループ(班)の活動報告

①研修班

概 要：年間8回の予定(実績6回)で「あったかふつつエンジョイトーク2019」と題し権利擁護に関する勉強会を開催するとともに、次年度の勉強会の計画を作成する。

運営方針：地域の支援者・関係者間等において、課題を共有しながら交流・研究し、地域支援のネットワーク作りを目的とする。

(1) 研修班会議の運営状況

活動日時	場 所	内 容
5月30日(木)	富津市役所 大会議室	平成30年度の活動について報告 令和元年度の活動について説明 5月30日開催の勉強会について説明 6月27日開催の勉強会について協議
6月27日(木)	富津市役所 大会議室	5月30日開催の勉強会について報告 6月27日開催の勉強会について説明 7月26日開催の勉強会について協議
7月26日(金)	富津市役所 大会議室	6月27日開催の勉強会について報告 7月26日開催の勉強会について説明 9月26日開催の勉強会について協議 令和2年度の勉強会について協議
10月24日(木)	富津市役所 503会議室	10月24日開催の勉強会について説明 11月21日開催の勉強会について協議 令和2年度の勉強会について協議

12月16日(月)	富津市役所 503会議室	12月16日開催の勉強会について説明 1月28日開催の勉強会について協議 令和2年度の勉強会について協議
1月28日(火)	富津市役所 大会議室	12月16日開催の勉強会について報告 1月28日開催の勉強会について説明 令和元年度の活動について報告 令和2年度の活動について説明

(2) あったかふつつエンジョイトーク 2019

日時	場所	内容	講師	備考
5月30日(木)	富津市役所 大会議室	精神障がい当事者の方からのお話	上総ゆうゆうの郷：1名 地域作業所和楽：2名	☆
6月27日(木)	富津市役所 大会議室	障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例について	君津保健所 石井 喜美子	☆
7月26日(金)	富津市役所 大会議室	身体障がい当事者の方からのお話	どんぐりの郷：3名	☆
10月24日(木)	富津市役所 503会議室	発達障がいの子を持つ母からのお話	富津市障害者総合支援協議会子ども部会 小原 生代	○
12月16日(月)	富津市役所 503会議室	福祉制度に繋がらない人たちの実態と支援について	君津ふくしネット 山口 誉典	○
1月28日(火)	富津市役所 大会議室	会社や職場で出会う、配慮を必要とする人への接し方	富津市障害者総合支援協議会就労支援部会 岩井 允 小池 光徳	☆

※備考欄：○は「支援者向け」、☆は「支援者含めどなたでも」

評価：あったかふつつエンジョイトーク 2019 を通し、障がいのある方の気持ち、思いなどを聞き、過去の経験や現状を知ることができた。また、支援（関わり方）を考える機会となり、地域の支援者・関係者等の知識向上を図りつつ、交流・研究の機会として行えた。しかしながら、内容が役立つものであっても、参加人数が少ないことが課題である。

②調査研究班

概要：地域の方々との関わりや福祉事業所などが取り組んでいる権利擁護について考えていく。

活動方針：地域全体が必要と感じている活動を検討、富津市内小中学校等への普及啓発を含めた活動として「福祉教育」に関する調査等を実施する。

(1) 調査研究班会議

日程	会場	内容
5月30日(木)	富津市役所 大会議室	班長の選任及び活動内容の検討
6月21日(金)	富津市役所 202会議室	福祉教育プログラムの配布方法について
7月19日(金)	富津市役所 201会議室	福祉教育プログラムの内容検討
8月23日(金)	富津市役所 202会議室	福祉教育プログラムの内容検討 (DVD作成に向けて)
11月21日(木)	富津市役所 2階相談室	福祉教育プログラムの内容検討 (DVD作成に向けて)
12月16日(月)	富津市役所 503会議室	福祉教育プログラムの内容検討 (DVD作成に向けて)
1月28日(火)	富津市役所 大会議室	福祉教育プログラムの内容検討 (DVD作成に向けて)
2月21日(金)	富津市役所 2階相談室	DVD作成のための内容検討 (具体的な作成方法、撮影等の段取り確認) (予定)
3月19日(木)	富津市役所 2階相談室	作成DVDの内容確認 次年度への引継ぎ事項の確認 (予定)

評 価：福祉教育プログラムの中の「こころの病気を知ろう」に焦点を当て、具体的な講義内容、方法について検討してきた。当初、小学生を対象に考えてDVD作成準備を進めてきたが、実際に「当事者の方」の講演DVDを班会員で視聴したことをきっかけに、「この内容は、思春期真ただ中にある、中学生に是非とも知ってもらいたい」という意見を受け、対象を中学生とすることに方向転換した。年度内に完成する予定である。
年間を通してプログラムの内容を検討する中で、班会員自身も「こころの病気」についての認識を深めることができた。

3. 令和2年度の活動方針

「障がいがあってもなくても暮らしやすいまちづくり」を目標に活動する。
引き続き部会員を「研修班」と「調査研究班」という2つのワーキンググループに分けて活動を行うが、班にとらわれることなく、相互に協同して活動する。

① 研修班

- ・勉強会について、「権利擁護」を焦点に、「児童虐待」「障がい者虐待」「高齢者虐待」「差別解消法」「成年後見人制度」をテーマに開催する。
- ・勉強会について、打合せ月、実施月、反省月に分け、四半期に1回、年間4回開催とし、反省点等を次回に反映させていく。

- ・勉強会について、多くの参加者を募るため、安全安心メールや広報ふっつ等の情報発信ツールの活用を検討し、周知方法の拡大を図る。
- ・民生・児童委員や小学校、中学校等、特定の対象に絞った講演について、随時協議を行い、実施の検討を行う。
- ・今年度の部会員及び勉強会参加者に実施したアンケート等の意見を踏まえ、地域の支援者・関係者等の知識向上及び支援技術向上につながるような、交流・研究の機会となるよう活動する。

② 調査研究班

- ・前年度作成した「こころの病気を知ろう」の講演 DVD の内容の確認と、DVD 視聴前後にアンケートを行う。
福祉教育プログラムに参加した対象者が「こころの病気」について、広くは「障がい」をどのように考えているのか、意識調査を行う。
- ・富津市内における様々な団体の権利擁護活動をサポートする体制について、各団体の活動状況の調査、研究を行う。

V. 障がい者差別解消会議-----

1. 令和元年度の活動報告

概要：福祉関係者だけでなく、市民全体へ障がいへの差別解消についての理解促進を行う。

活動方針：広報誌での啓蒙活動や各部会の活動と連携した勉強会を行う。

評価：実際の相談に基づく会議の開催はなかったため、啓蒙活動などを中心に行った。権利擁護部会勉強会において「障がいのある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例について」をテーマに、市民向け講演会を行い、障害者差別解消法について周知を行った。また学校から依頼を受けて実施した福祉教育においても、子どもたちが障がいについて考えるきっかけとなるような授業の組み立てを行った。

2. 令和2年度の活動方針

- 障害者差別解消法に基づく相談があった場合には、随時会議を開催する。
- 各部会と連携を取り、福祉関係者だけでなく、企業をはじめ、広く一般での理解の促進のための情報発信を行う。
- 「広報ふつつ」への掲載により障害者差別解消法の周知を行う。

VI. 広報会議

1. 令和元年度の活動報告

概要：「障がいがある人もない人もともにしやすいまち」をテーマにしたポスターや、広報誌「もごっち」の発行など、各部会の広報活動を包括的に担う。会議の委員については、各部会から2人ずつ、各部会と兼務している。

運営方針：障害者総合支援協議会や各部会の広報啓発を目的に、下記のとおり活動を行った。

活動日時	場 所	内 容
5月7日（火）	富津市役所 201 会議室	第1回広報会議 ・今年度の活動方針について
6月26日（水）	富津市役所 401 会議室	校長会に参加 ・ポスター依頼・福祉教育について案内 教育委員会宛てポスター依頼
10月10日（木）	富津市役所 大会議室	第2回広報会議 ・ポスターコンクール特別賞選考会
11月3日（祝）	富津公民館	「子どもまつり」にてポスターコンクール表彰式
11月25日（月）	環小学校	親子学習（手話体験）のための打ち合わせ
12月2日（月）	イオンモール 富津	ポスターコンクール全作品搬入
12月3日～8日	イオンモール 富津	ポスターコンクール作品展示
12月5日（木）	環小学校	ろうあ協会による親子学習（手話体験）
12月10日（火）	富津市役所 福祉の窓口課	天羽中アイマスク・車イス体験のための打ち合わせ
12月13日（木）	天羽中学校 体育館	社会福祉協議会によるアイマスク・車イス体験
1月14日（火）	富津市役所 相談室	第3回広報会議 ・もごっちの内容について ・来年度の方針について
2月27日（木）	飯野小学校	ろうあ協会による手話体験（予定）
2月中	富津市役所	「もごっち」の原稿確認（予定）
3月6日（金）	飯野小学校	社会福祉協議会によるアイマスク・車イス体験 （予定）
3月10日頃	富津市役所	「もごっち」の回覧棚入れ作業（予定）

活動内容：協議会主催による小中学生を対象としたポスターコンクールと啓発物品（ポケットティッシュ等）の企画を担当。令和2年2月15日・16日にイオンモール富津にて開催される、第5回富津ユニバーサルフェスタ等の市内のイベントでは周知活動（ポケットティッシュ配布等）を実施予定。

評価：ポスターについては、市内小中学校に募集をかけ、昨年は37点の応募のところ、今年度は46点の応募があり、着実に増加してきている。市長賞・協議会長賞・のりちゃん賞を設定し、11月3日「子どもまつり」にて表彰式を行った。また、令和元年12月3日～8日にかけてイオンモール富津にて、応募のあった全ての作品の展示会を行い、多くの市民の方の目に触れられる機会を設けた。受賞者の作品はポケットティッシュに印刷し、総合支援協議会の広報啓発のためユニバーサルフェスタなどで配布する予定。

「もごっち」については、広報会議のメンバーで協議し、第15号を令和2年3月に発行し、市内へ全戸配布予定。また、企業向け広報のため就労支援部会主催の企業向け講演会でも配布予定。

福祉教育に関しては、権利擁護部会で作成した「福祉教育プログラム」を教育委員会や学校へ周知し、広報会議が窓口となり各関係機関と連携し実施した。

2. 令和2年度の活動方針

- 障がいテーマにしたポスターの作成依頼及びそれに伴う広報活動の継続
- 「もごっち」の継続的な発行
- 調査研究班が作成した「福祉教育プログラム」を活用し、学校への情報提供を行い、学校の福祉教育に関する相談窓口を担当していく。
- 随時各部会のニーズを汲み取り、対応していく。

VII. 富津市障害者総合支援協議会一部事務委託-----

1. 令和元年度 連絡調整会議の運営状況

概要：協議会全体の運営を円滑に行うための連絡調整機能を有しており、各部会の情報交換と連携、運営の方向性を確認した。

活動日時	場所	内容
5月15日(水)	富津市役所 503 会議室	・各部会の本年度の運営方針について ・その他
7月25日(木)	富津市役所 201 会議室	・各部会の活動状況について ・その他
10月10日(木)	富津市役所 大会議室	・各部会の活動状況について ・その他
12月6日(金)	富津市役所 201 会議室	・各部会の活動報告について ・その他
2月4日(火)	富津市役所 502 会議室	・各部会の活動報告について ・来年度の活動方針について ・その他

評価：連絡調整会議で各部会の活動状況や今後の活動について、相互に確認し、指摘し合うことで、部会自体の活動の幅を広げ、また連携することができた。

2. 令和2年度の活動方針

○連絡調整会議の継続

引き続き、2ヶ月に1回程度を目安に連絡調整会議を行い、各部会の活動状況や運営方針の確認を行う。

○相談支援関係事業所連絡会の活動継続

質の高い相談支援体制を目指し、指定特定相談支援事業所、行政の実務者を中心に、横の連携を強化するため、月1回、体制整備や困難事例の共有、事例検討、新規事業所の見学、障害福祉サービスに関する情報共有等を行う。

VIII. 令和元年度 総合支援協議会運営委託料 執行見込-----

予算額 278,000 円

項目	金額	内容
研修費[a]	55,000 円	
就労支援部会	10,000 円	講師報償費
地域生活支援部会	0 円	
子ども部会	15,000 円	講師報償費
権利擁護部会	30,000 円	講師報償費
障がい者差別解消会議	0 円	講師報償費
全体研修費	0 円	
事務用消耗品費[b]	188,546 円	
広報誌用紙・印刷代	152,000 円	
ポスター応募者記念品代	17,346 円	広報会議
雑費	19,200 円	委嘱状用紙、賞状用紙など
通信運搬費[c]	34,454 円	
啓発用ポケットティッシュ代	5,000 円	プリント代及び封入作業代 2,000 個
郵送代	29,454 円	企業へ説明会通知送付 商店等へポスター送付 ほか
合計 ([a] + [b] + [c])	278,000 円	

IX. 令和2年度 総合支援協議会運営委託料 予算(案)-----

項目	金額	内容
研修費[a]	95,000 円	
就労支援部会	10,000 円	講師報償費
地域生活支援部会	10,000 円	講師報償費
子ども部会	30,000 円	講師報償費
権利擁護部会	30,000 円	講師報償費
障がい者差別解消会議	5,000 円	講師報償費
全体研修費	10,000 円	各部会 2,500 円×4 部会
事務用消耗品費[b]	132,000 円	
広報誌用紙代	117,000 円	
ポスター応募者記念品代	15,000 円	広報会議
通信運搬費[c]	51,000 円	
啓発用ポケットティッシュ代	26,000 円	ティッシュ代、プリント代及び封入作業代 3,000 個
郵送代切手	25,000 円	企業説明会通知ほか
合計 ([a] + [b] + [c])	278,000 円	